



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日
東

上場会社名 CRGホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 7041 URL <https://www.crgh.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 康浩
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 竹内 啓 (TEL) 03-6302-0834
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	12,494	△0.3	185	△21.9	114	△37.9	△12	—
2025年9月期第3四半期	12,532	△4.1	237	652.5	184	—	69	—

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 102百万円(42.4%) 2025年9月期第3四半期 71百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	△2.27	—
2025年9月期第3四半期	12.56	12.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	8,342	2,978	35.7
2025年9月期	9,061	2,920	32.2

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 2,978百万円 2025年9月期 2,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,000	9.6	300	7.4	250	18.6	100	△34.8
								18.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年9月期3Q	5,577,250株	2025年9月期	5,557,200株
2026年9月期3Q	126株	2025年9月期	126株
2026年9月期3Q	5,567,935株	2025年9月期3Q	5,527,074株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境に改善が見られ、政府による各種政策の効果もあり国内景気は緩やかな回復傾向にて推移しました。一方、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響やアメリカの通商政策の影響など、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクがあり、先行きは不透明な状況が続いております。また、中東情勢や物価上昇の継続、金融資本市場の変動等の影響には十分注視する必要があります。

当社グループが属する人材サービス業界におきましては、2026年6月の有効求人倍率（季節調整値）は1.18倍、完全失業率（季節調整値）は2.5%で前期末と同水準でした。

このような市場環境のもと、当社グループにおきましては、主力の人材派遣紹介事業における継続的な労働力の提供に加え、業務効率化の支援を行うことを目的に、人材派遣紹介事業にて培ったナレッジを活かした採用支援・BPOなどの各種代行事業や製造請負事業、少子高齢化に伴う人手不足という課題を解決するためのトータルサポートを提供してまいりました。近年では、これまで以上に期待されているシニア、女性、グローバル人材の活用や、障がいをお持ちの方の雇用機会の創出や処遇の確保・改善にも注力することに加え、専門人材による通訳・翻訳サービスの提供など事業領域を拡大させております。また、当社グループが提供するサービスや経営資源との相乗効果を見据え、民泊等の宿泊管理代行サービスを主軸とした不動産関連サービスにも参入するなど、事業ポートフォリオを多角化し経営の安定化を図ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、物流・製造向け人材派遣が堅調に推移したことに加え、製造請負・製造事業における安定稼働や、障がい者雇用支援サービス、宿泊管理サービスの更なる事業成長の達成に向けて継続して注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12,494百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は185百万円（前年同期比21.9%減）、経常利益は114百万円（前年同期比37.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は12百万円（前年同期は69百万円の利益）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりとなります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前第3四半期連結累計期間の数値については、変更後の報告セグメントの区分に基づき開示しております。

①HR関連事業

HR関連事業は、顧客企業の人材に係る課題解決のため、人材派遣・人材紹介・BPO・障がい者雇用サポート・通訳翻訳などの幅広いサービスを展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、物流・製造向け人材派遣が堅調に推移したことに加え、障がい者雇用支援サービスではサテライトオフィス事業の新規顧客獲得の強化や拠点の開設、宿泊管理サービスについては、業務提携による都市型民泊事業の運営サポート強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は9,679百万円（前年同期比0.0%増）、セグメント利益は23百万円（前年同期比39.5%減）となりました。

②製造関連事業

製造関連事業は、取引先メーカー及びその関連会社からのペット関連製品の製造請負・製造・物流・倉庫業務など製造業に関連するサービス、及び培ったノウハウを活かしたその他製品の製造請負を展開しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、既存の製造請負拠点や東金製造工場の安定稼働により堅調に推移したことに加え、製造業向け人材派遣の取り組みを強化し、新規請負先の開拓に注力してまいりました。

以上の結果、売上高は2,819百万円（前年同期比17.3%増）、セグメント利益は207百万円（前年同期比92.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,342百万円となり、前連結会計年度末に比べ719百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が188百万円、受取手形及び売掛金が148百万円増加したものの、現金及び預金が865百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,363百万円となり、前連結会計年度末に比べ777百万円減少いたしました。これは主に、未払費用が146百万円、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が2,359百万円増加したものの、短期借入金が3,493百万円、賞与引当金が58百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が12百万円、前連結会計年度の配当により利益剰余金が50百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が114百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の通期の業績予想につきましては、前回公表（2025年11月14日付）いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,511,826	2,646,169
受取手形及び売掛金	1,631,817	1,780,459
棚卸資産	57,422	62,495
その他	321,649	138,561
貸倒引当金	△3,526	△2,863
流動資産合計	5,519,189	4,624,822
固定資産		
有形固定資産	1,632,012	1,617,975
無形固定資産		
のれん	388,933	347,687
顧客関連資産	54,118	46,492
その他	46,303	72,245
無形固定資産合計	489,355	466,425
投資その他の資産		
投資有価証券	1,117,713	1,306,457
その他	314,246	339,102
貸倒引当金	△10,545	△12,534
投資その他の資産合計	1,421,414	1,633,025
固定資産合計	3,542,782	3,717,426
資産合計	9,061,971	8,342,249
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,458	160,171
短期借入金	3,743,822	250,000
1年内返済予定の長期借入金	262,160	668,300
未払法人税等	65,709	64,767
未払費用	935,924	1,082,816
賞与引当金	117,431	58,610
契約負債	15,241	18,921
その他	370,649	508,777
流動負債合計	5,634,396	2,812,365
固定負債		
長期借入金	486,960	2,440,125
その他	19,967	111,300
固定負債合計	506,927	2,551,425
負債合計	6,141,323	5,363,790

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	452,869	455,776
資本剰余金	682,956	685,863
利益剰余金	1,785,344	1,722,685
自己株式	△111	△111
株主資本合計	2,921,059	2,864,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△410	114,244
その他の包括利益累計額合計	△410	114,244
純資産合計	2,920,648	2,978,458
負債純資産合計	9,061,971	8,342,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	12,532,469	12,494,579
売上原価	9,418,049	9,479,662
売上総利益	3,114,419	3,014,917
販売費及び一般管理費	2,877,365	2,829,758
営業利益	237,053	185,159
営業外収益		
受取利息及び配当金	831	5,929
助成金収入	1,905	11,295
太陽光発電収入	3,112	2,535
持分法による投資利益	—	37,810
雑収入	2,196	1,342
その他	713	221
営業外収益合計	8,759	59,134
営業外費用		
支払利息	47,518	55,644
支払手数料	4,061	1,019
シンジケートローン手数料	1,341	65,718
投資事業組合運用損	7,306	7,164
その他	1,412	458
営業外費用合計	61,640	130,005
経常利益	184,171	114,288
特別利益		
固定資産売却益	3,517	—
その他	110	—
特別利益合計	3,628	—
特別損失		
固定資産売却損	69	—
固定資産除却損	—	0
投資有価証券評価損	1,602	—
役員退職慰労金	84,000	—
貸倒引当金繰入額	—	1,250
その他	1,151	—
特別損失合計	86,823	1,250
税金等調整前四半期純利益	100,977	113,038
法人税、住民税及び事業税	96,033	97,219
法人税等調整額	△64,344	28,464
法人税等合計	31,689	125,683
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69,287	△12,645
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△147	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	69,434	△12,645

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	69,287	△12,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,354	114,655
その他の包括利益合計	2,354	114,655
四半期包括利益	71,641	102,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,789	102,009
非支配株主に係る四半期包括利益	△147	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	HR関連事業	製造関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,673,271	2,403,242	12,076,513	455,955	12,532,469	—	12,532,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,359	—	2,359	—	2,359	△2,359	—
計	9,675,630	2,403,242	12,078,873	455,955	12,534,828	△2,359	12,532,469
セグメント利益	39,389	107,694	147,083	167,189	314,273	△77,219	237,053

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィナンシャル事業であります。

2. セグメント利益の調整額△77,219千円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれております。なお、全社費用は、主に各事業セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	HR関連事業	製造関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,665,174	2,819,604	12,484,778	—	12,484,778	9,801	12,494,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,110	—	14,110	—	14,110	△14,110	—
計	9,679,284	2,819,604	12,498,889	—	12,498,889	△4,309	12,494,579
セグメント利益又は損失(△)	23,827	207,463	231,290	△330	230,959	△45,800	185,159

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィナンシャル事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△45,800千円は、セグメント間取引消去並びに各事業セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は、主に各事業セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「HR関連事業」及び「フィナンシャル事業」の2区分によるセグメント情報を記載しておりましたが、「HR関連事業」に含めていた各種製造請負及び製造事業が前連結会計年度までの取り組みにより事業基盤が確立され、安定成長可能な段階に至ったという判断のもと、事業展開に即した情報開示を行うべく新たに「製造関連事業」として区分することといたしました。

また、前連結会計年度において、連結子会社であった株式会社クレイリッシュ（現株式会社高島屋クレイキャピタル）の当社保有株式を一部譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、「フィナンシャル事業」として記載していた報告セグメントについては量的な重要性が低下したため、第1四半期連結会計期間より「フィナンシャル事業」を「その他」に含めて記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん、顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれん及び顧客関連資産の償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	98,279千円	97,261千円
のれんの償却額	69,925千円	41,245千円
顧客関連資産の償却額	12,410千円	7,626千円